

# 発表6：海ごみを遊び道具に変えて 楽しくアップサイクルしよう

函館西高校 チームF

チーム名：ocean recycreation (オーシャン リサイクリエーション)

発表者：3年2組 奥寺 凰史 3年2組 佐々木 李奈

3年3組 中村 梨美 3年5組 本田 麻文

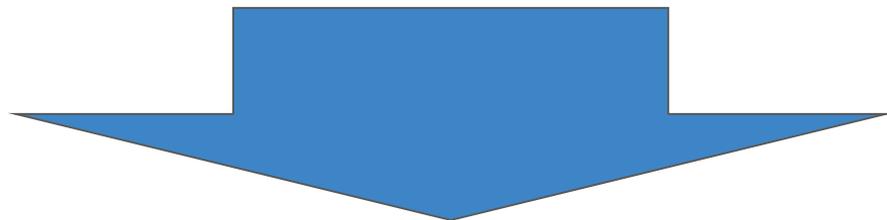
3年3組 鎌田 美憂



# 1. この活動のきっかけ

①街中にゴミがあって汚いと思った

②赤レンガの海にゴミがたくさんあった



ゴミを捨てるだけでなく  
周知のためにできることはあるか？

# ● **アップサイクル**(アップサイクリング)とは？

廃棄物などの役に立たないまたは不要な製品を、  
より良い品質と環境価値の新しい材料や製品に  
アップグレードして役立てるプロセス

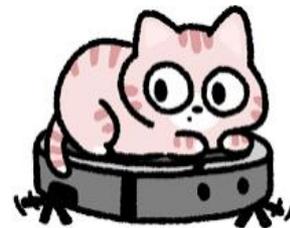


# アップサイクルのシーグラス体験



### 3. なんのために活動するのか

①海にゴミを減らして景観をきれいにする



②社会に海のごみについてもっと知ってもらえる



## 4. これまでの活動

### 〈昨年秋〉

- ・ どのようにゴミを集めるか調べた
- ・ 市内に協力してくれる企業はあるか調べた

### 〈昨年冬〉

- ・ 物作りに特化した企業に協力をお願いをした
- ・ 赤レンガ倉庫にゴミの回収について確認した



## 〈今春〉

- ・ 実際に赤レンガ倉庫の運河のゴミを拾った
  - ・ モノクラブベース函館さん(企業)とミーティングした
- 今後のスケジュール、経費をどうするか
- 拾ったゴミで何が作れるのか、  
作ったものをどうするか(販売、展示など)



〈今夏〉

・マリンフェスティバル出店

(7月15・16日海洋センター開催イベント)

→ゴミを使ったコマ作り体験の実施

〈現在〉

・モノクラさんと月一程度のミーティング

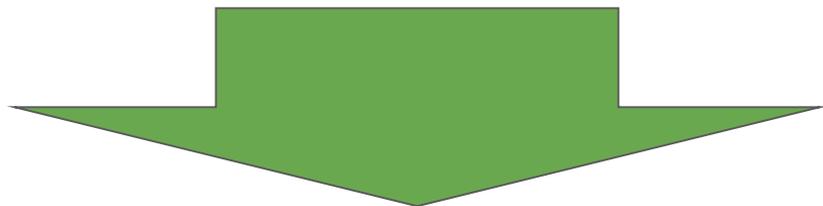
→今後についての話し合い



## 5. 目指しているゴール



- ①アップサイクルしたものを販売、展示、寄付する
- ②①を利用して海ごみの現状を知ってもらいたい(周知)



**赤レンガ倉庫の景観の良さ、魅力UP！  
函館のごみの量を減らす！**

## 6. グループワークで話し合ってもらいたいこと

- ・ 活動資金がないが、資金調達のアイデアは？
- ・ ゴミの加工作業ができなくて困っているが、協力してくれる企業を探す方法は？
- ・ 赤レンガ倉庫の運河以外の海ごみを拾う方法は？
- ・ コマ作り以外でアップサイクルのアイデアは？
- ・ 社会に海ごみについて啓発する方法は？
- ・ 次世代に活動を引き継いでいく方法は？